製品安全データシート

JIS Z 7253:2019

作成日: 2022 年 1 月 24 日
改定日: 2022 年 1 月 24 日

1. 化学物質等及び会社情報

商品名: スーパーナチュラル KF-7 α

推奨用途: 床材施工用接着剤(内装)

製造会社名: Kiesel Bauchemie GmbH & Co.KG
Wolf-Hirth Strasse 2,
D-73730 Esslingen Germany

TEL: +49-711-93134-0
FAX: +49-711-93134-140

緊急連絡先: Labor, Abteilung fuer Arbeitssicherheit und Umweltschutz
Vergiftungs- Informations-Zetrale Freiburg
TEL: +49-761-19240

2. 危険有害性の要約

本製品は GHS(化学品の分類及び表示に関する世界調和システム)分類基準をもとに分類および表示されています。

物理化学的危険性: 無効

健康に対する有害性: 発がん性　区分 1A

生殖細胞変異原性　区分 2
特定標的臓器有害性(単回暴露)　区分 1
特定標的臓器有害性(反復暴露)　区分 1

ラベル要素
シンボル: GHS08



注意喚起語: 危険

危険と定められた成分をラベル表示: 結晶質シリカ

危険有害性情報
H350 発がん性の恐れ
H341 遺伝性疾患の恐れあり
H370 臓器の障害
H372 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害
肺を長期間または繰り返された露出によって損傷させることがある
吸引/息を吸い込む

注意書き
子供の手の届かないところに置くこと。
すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
環境への放出を避けること。

気分が悪い時には医師の診断、手当を受けること。
施錠して保管すること。

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

その他の危険性
PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物性)及び v PvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし

vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

3. 組成・成分情報
化学的特性: 混合物

成分	CAS No.	含有量	化審法	労働安全衛生法	PRTR 法
Sio2	14808-60-7	10%～	1-548	別表第 9 の 312	非該当
炭酸カルシウム	471-34-1	10%～	1-122	非該当	非該当
水	7732-18-5	10%～			
アクリル共重合	非公表	10%～	不明	不明	非該当
Triethylene Rosin Ester	8050-25-7	10%～	不明	非該当	非該当
Modified balsamic rosin	91081-53-7	1～10%	不明	非該当	不明
ポリ（オキシエチレン）ポリ（オキシプロピレン）ブロックコポリマー	9003-11-6	0.1～1%	不明	非該当	不明
Polyacrylates emulsion anionic	非公表	0.1～1%	不明	不明	不明
Polyacrylat solution	非公表	0.1～1%	不明	不明	不明
Alkyl ether sulfate sodium salt aqueous solution	非公表	0.1～1%	不明	不明	不明
Emulsion organo modified polysiloxane	非公表	0.1～1%	不明	不明	不明
Sodium deuteroxide	非公表	～0.1%	不明	不明	非該当
Microbicide based on 2 bromo 2 nitro propanediol	非公表	～0.1%	不明	不明	非該当
３－ヨード－２－プロピニルブチルカーバメート	55406-53-6	～0.1%	2-3456	新規公表物質	非該当
ｐ－メトキシフェノール	150-76-5	～0.1%	3-567	非該当	非該当
２－メチル－４－イソチアゾリン－３－オン	2682-20-4	～0.1%	5-5235	非該当	非該当

1，2－ベンゾチアゾリン－3－オン	2634-33-5	～0.1%	9-1845	非該当	非該当

NITE CHRIP データベースより

4. 応急措置

一般情報: 気分が悪いときは医師の診察を受ける

吸引した場合: つらい場合には医師に相談する

皮膚に触れた場合: 即刻水で洗浄

眼に入った場合: 瞼を開けたまま流水で何分間か眼をすすぐ

飲み込んだ場合: 状態が好転しない場合には医師に相談する。

最も重要な急性及び慢性の症状及び影響: 追加的な関連情報は得られていません。
何らかの即時医療処置及び特別治療の必要を示す兆候: 追加的な関連情報は得られていません。

5. 火災時の措置

適切な消化剤: CO2、消化粉末剤あるいは水放射。火が大きい場合には水放射もしくは耐アルコール性泡を使用。

本化学物質または混合物から発生する特別な危険性: 加熱もしくは火災の際に有毒ガスを発生する可能性あり
周囲の状況に合わせた消化措置を取る

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特別な保護装備: 自給式呼吸器と保護服を着用してください。爆発性ガスや燃焼ガスを吸入しないで下さい。

6. 漏出時の措置
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:呼吸保護装置を装着

環境に対する注意事項: 製品が下水処理施設や河川に流れ込まないようにする。河川、下水処理施設に流れ込んだ場合には関係当局に連絡する。
大量の水で薄める

封じ込め及び浄化のための方法及び材料: 液体吸収材(砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず)で吸収する。
13 項に従い汚染物は廃棄物として処理する

その他のセクションへの言及: 危険な成分は漏出しない
安全な取り扱いに関しては 7 を参照
人の保護装備の情報に関しては 8 を参照
廃棄処分に関しては 13 参照

7. 取り扱い・保管上の注意

取扱い: 容器は密閉状態を保つ
作業場では十分な換気、埃を吸い取るように心がける

エアゾールの発生を防ぐ
適切な産業衛生や安全な方法に従って取り扱う。

火災及び爆発防止に関する注意事項: 呼吸保護装置を用意しておく

混融危険性を含めた安全貯蔵条件

保管
保管スペース及び容器に関する要求事項: 圧縮ガスパック保管に関する関係当局の規定に注意すること。

同じ場所に保管する際の注意事項: 食料と離して保管する

保管条件に関するその他の注意事項: 涼しい場所に保管する
容器は密閉した場所に保つ

特定の最終用途: 追加的な関連情報は得られていません。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度等
作業場においての限界値の監視を要する成分

追加注意事項: 生成時に有効なリストがもとになっている。

設備対策
技術設備の形体に関する追加注意事項: その他の申し立てなし、7 項参照

保護具
一般防止措置及び衛生措置: 汚れのしみこんだ衣服は即刻脱ぐ
食物、飲み物、飼料からは遠ざける
休憩の前、作業終了後には手を洗う
防塵服は別に保管する

呼吸保護器具: 短時間もしくは負担が小さい場合には呼吸フィルター付装置を、集中的あるいは長時間触れる場合には、酸素ボンベ付き呼吸保護装備を使用すること。
低濃度または短期暴露での適切な呼吸保護：微粒子フィルター EN143 型 P2(有害物質の固体及び液体粒子)

手の保護: 保護手袋
手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならない。
浸透時間、透過性および劣化の点を留意しながら手袋の材質を選択する

手袋への浸透時間: 正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること。

眼の保護: 密閉式保護めがね

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理及び化学特性に関する情報
形: ペースト状
色: ベージュ

におい:	特徴的
pH 値(20℃):	7.5-8
融点/融解範囲:	決まっていない
引火点:	100℃
発火性:	情報なし
発火温度:	情報なし
分解温度:	決まっていない
自然発火性:	自然発火しない
爆発の危険:	爆発する危険はない
爆発限界:	上限:決まっていない　　下限:決まっていない
蒸気圧(約 20℃):	23 hPa
密度(約 20℃)	1.35g/cm3
相対的密度:	決まっていない
蒸気密度:	決まっていない
気化速度:	決まっていない
以下成分における消和性/混和性	
水:	完全に混合できる
配分係数(n-オクタノール/水):	決まっていない
力学的粘性(約 20℃):	4000mPas
運動的粘性:	決まっていない
他の情報:	物理的なデータは平均値である

10. 安定性及び反応性

反応性:	追加的な関連情報は得られていません
化学的安定性	
熱分解/回避すべき条件:	規定どおりの使用では分解しない
危険反応の可能性:	危険な反応は起きていない
避けるべき条件:	追加的な関連情報は得られていません
混触危険物質:	追加的な関連情報は得られていません
危険な分解生成物:	危険な分解生成物はない

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報	
生息細胞変異原性:	遺伝疾患のおそれの疑い
発がん性:	発がんのおそれ
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	臓器の障害
特定標的臓器毒性(反復ばく露:	長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害 肺を長期間または繰り返された露出によって損傷させることがある　　吸引/息を吸い込む
誤えん有害性:	追加的な関連情報は得られていません。

12. 環境影響情報

毒性
水生生物に対する毒性: 追加的な関連情報は得られていません。

残留性・分解性: 追加的な関連情報は得られていません。

生体蓄積性: 追加的な関連情報は得られていません。

土壌中の移動性: 追加的な関連情報は得られていません。

PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及び vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし

vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

オゾン層への有害性: 追加的な関連情報は得られていません。

他の副作用:
その他のエコロジーに関する注意事項:

一般注意事項: 水への危険度分類 1(ドイツの規定)(自己査定):水に対する危険性はわずかである。
薄めずにあるいは多量に地下水、河川もしくは下水施設に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器の安全かつ環境上望ましい廃棄又はリサイクルに関する情報

勧告: 関係当局の規則にしたがって処分

洗浄されていないパッケージ:
勧告: 関係当局の規則にしたがって処分

推薦する洗剤: 水、場合に応じて洗剤も使用

14. 輸送上の注意

UN 番号(ANR,AND,IMDG,IATA): 無効

国連出荷正式名(ANR,AND,IMDG,IATA): 無効

輸送の危険性クラス(ANR,AND,IMDG,IATA): 無効

パッケージの分類(ADR,IMDG,IATA): 無効

環境危険(海の汚染物質): なし

ユーザー用特別予防措置: 情報なし

マルポール条約(MARPOL73/78)付属書 II 及び IBC コードに準じたバルク輸送: 情報なし

輸送/その他の説明:　　上記規定によれば危険はない

15. 適用法令

日本接着剤工業会
ホルムアルデヒド放散量区分: 屋内空気質汚染対策のための自主管理規定 JAIA-011950　F☆☆☆☆
4VOC 放散速度基準: 日本接着剤工業会自主管理規定　　JAIA-505855 4VOC 基準適合

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料及び試験に基づいて作成しておりますが、新しい知見による改訂されることがあります。
全ての化学物質は未知の有害性がありえるため、取りか使いには十分注意する必要があります。記載内容は安全性に関する情報提供であって、製品の保証書ではありません。
注意事項は通常の取り扱いを対象としたもので、特別な取り扱いをする場合は用途、使用方法に適した安全対策を行い、使用ください。